

「こどもまんなか応援サポーター」宣言について

1.概要

「こどもまんなか応援サポーター」とは、こども家庭庁の取り組みの一つで、こどもたちのために何がもっともよいことかを常に考え、こどもたちが健やかに幸せに成長できるような社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らもアクションに取り組んでいただける個人、団体・企業、自治体等を「こどもまんなか応援サポーター」と位置付けています。

サポーターは、こども・若者の意見を尊重した「こどもまんなか」アクションを実行するとともに、そのアクションを SNS 等で広く発信することや、地域社会に広く参加を呼びかけることが求められます。

① こどもまんなかの趣旨に賛同する。

こどもまんなか社会実現に向けて、賛同した方・団体メンバーご自身がこども若者に対して何ができるのかを考えるきっかけづくりとします。

※「こどもまんなか」とは

すべてのこどもや若者たちが幸せに暮らせるように、常にこどもや若者の今とこれからにとって最もよいことは何かを考え、社会全体で支えていくこと。

② サポーターご自身が考える「こどもまんなか」なアクションを実行する。

こども・若者に意見を聴き尊重した上で何ができるか、の答えはさまざま、正解はありません。それぞれにできる、こどもまんなかに向けたアクションをお願いします。

③ ご自身・団体のアクションを発信し、地域社会に広く参加を呼びかける。

SNS(Twitter、Instagram 等) や YouTube 上でそれぞれのアクションを #こどもまんなかやってみた をつけて発信します。

2.宣言の趣旨

「こどもまんなか応援サポーター」となることを宣言し、安心して子供を産み育てることのできる、子育てにやさしい環境づくりを今後もさらに進めていきます。また、市として「こどもまんなか」に取り組む姿勢を示し、市民に広くその取組みを発信することで、社会全体でこどもの成長や子育てを応援していく機運の醸成につなげます。

【鯖江市の今後の取組みとして】

- 「こどもまんなか」に取り組む姿勢を示す（総合戦略、子育て支援計画に盛り込む。予算編成に反映させる。）
- 市民、市民団体、企業等に輪を広げる（COSAPO 等、市民団体やめがねのまちさばえ応援企業等にサポーター参加を呼びかける）
- 市民に広くその取組みを発信する（「#こどもまんなかやってみた」「#こどもまんなかめがねのまちさばえ」をつけて発信する。）
- 鯖江の強みをいかす（JK 課、SDGs 部など、若者と連携した活動を応援する。）

3.県内自治体の状況

福井県、大野市（いずれも R5.8.3 宣言）